

1. < 施策の概要 >

基本理念	各種産業を育む活力あふれるまちづくり	統括課	事業部 産業振興課
基本方針	産業振興		
施策名	農林業振興	関連課	
方針・目標等	◆都市農村交流による振興。◆農地利用集積による農業経営の効率化。		
実施内容	◆農業者グループに対する周年観光農業の事業拡大支援・育成。◆学校等への給食食材の提供。◆直売所での販売促進。◆都市住民に対する農業への理解促進。◆地産地消の推進。		

2. < 指標の設定 >

	重点	指標名	単位	他団体比較 団体名/実績/年度				算式・引用等	
				H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)		H23(試算)
①	○	農産物直売所年間販売額	千円						
②	○	観光いちご園などの入園者数	名						
③		学校給食への食材提供量	Kg						
④		農地の利用集積	ha						
⑤		遊休荒廃農地	ha						
				H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(試算)	H24(試算)
①		目標		-	-	-	100,000	110,000	115,000
		実績		-	-	103,000	110,000		
②		目標		-	-	-	30,000	38,000	38,000
		実績		-	30,000	30,000	35,000		
③		目標		-	-	-	3,200	3,500	3,800
		実績		-	-	3,088	3,250		
④		目標		-	-	-	15.00	18.00	20.00
		実績		-	-	13.00	16.60		
⑤		目標		-	-	-	10.00	10.00	10.00
		実績		-	-	7.75	10.69		

3-1. < 指標から読み取れる成果と課題 >

・川西観光苺園は、経営面積が縮小し、入園者も減少傾向にある。一方、華やぎ観光農園は、施設の充実をすすめ入園者が増加している。・直売所の売上について、各地区の小規模直売所の売上は減少傾向にあるが、JA直営の愛菜館及びグリーンマーケットにおいては、リフレッシュしたことなどにより、売上が増加しており今後に期待することができる。・学校給食への食材供給を進めているが、供給量の増加を図るべく、体制をさらに強化する必要がある。・農家の高齢化に伴う担い手不足により、遊休荒廃地が増加する一方、これらの土地活用と規模拡大を目指し利用集積は増加している。

3-2. < 住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点 >

・農業施設の初期投資や更新時などに対する支援要請はあるが、国・府の採択要件のハードルが高く、現時点においては事業化することができていない。
・町の施策として、独自に支援策を創設し振興を図ることも重要となっている。

4-1. <施策を構成する事業>

	重点	部 門 / 事業名 / 種別 / 決算書説明頁	事業費(人件費含む) / 事業費のみ / 事業費一財 <単位:千円>					
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(予算)	H24(試算)
1	○	産業振興課	-	-	3,931	4,760	5,818	5,818
		農産物育成・販売推進事業	338	338	386	375	1,433	1,433
		一般事業 171	-	-	386	375	1,433	1,433
2	○	産業振興課	-	-	4,754	5,220	5,449	5,449
		水田利活用自給力向上事業	949	923	829	681	910	910
		一般事業 171	-	-	0	0	0	0
3	○	産業振興課	-	-	3,625	3,549	4,077	4,077
		華工房管理運営事業	2,217	2,171	1,694	1,638	2,166	2,166
		一般事業 173	-	-	1,328	1,361	1,866	1,866
4	○	産業振興課	-	-	7,276	5,293	5,454	5,454
		土地改良施設等の助成	4,551	5,082	4,539	4,739	4,900	4,900
		一般事業 175	-	-	4,539	4,739	4,900	4,900
5	○	産業振興課	-	-	835,587	16,081	6,921	6,921
		里山保全モデル事業(繰越明許含む)	1,813	1,401	828,817	7,536	120	120
		一般事業 177	-	-	351,817	2,798	120	120
6		産業振興課	-	-	2,256	2,572	-	-
		緊急雇用対策事業(新規就農者等育成事業分)	-	-	324	1,458	-	-
		一般事業 127	-	-	0	0	-	-
7		産業振興課	-	-	13,990	17,957	18,904	18,798
		農業委員会活動費	4,770	4,762	5,068	4,774	5,721	5,615
		一般事業 167	-	-	3,846	3,256	4,467	4,361
8		産業振興課	-	-	4,464	2,020	2,021	2,021
		農業者年金業務委託事務費	145	127	113	111	112	112
		一般事業 169	-	-	0	0	0	0
9		産業振興課	-	-	4,265	1,930	1,930	1,930
		国有農地管理運営事業	20	20	20	20	20	20
		一般事業 169	-	-	3,846	0	0	0
10		産業振興課	-	-	31,802	39,176	33,775	33,267
		その他、農業総務事務費等14事業	5,673	7,343	11,250	12,073	9,240	8,732
		-	-	-	9,411	10,005	7,378	6,926

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

- ・担い手育成総合支援協議会での情報交換や議論などを通じて、農業振興の具体化を図っている。
- ・既存の農業関係組織などの育成強化を図るため、研修費用などの支援を実施している。
- ・華やぎ観光農園では、いちご高設栽培施設の整備を行い入園者の新規開拓を図っている。
- ・川西観光苺園は構成員の高齢化、さらには、山手幹線事業などによる収用で栽培ハウスが減少したが、代替ハウス整備による業績回復に期待したい。

5. <施策の今後の方向性>

- ・都市近郊型農業の振興策として、地産地消の推進や交流型農業の促進を図る。
- ・生産から加工、販売までの六次産業化を目指す。
- ・今後さらに利用集積を図る上からも、農業の効率化、活性化を目指し基盤整備事業の推進を図る。
- ・新規就農者などの経営の安定策として、学校給食用に契約栽培などを推進していく。